

講演者

加齢に伴う心不全 —見過ごされがちな3つのこと—

胸部・心臓血管外科学 教授
谷口 繁樹



講演概要

超高齢社会を迎えた本邦においては、疾病構造の変化から見て“心不全パンデミック”とも言われるように、心不全は重要な病態の一つと考えられます。しかし心不全は様々な原因によって引き起こされ、様々な要因によって増悪することが知られています。

今回の講演では、加齢に伴って増加する心不全の発症に明らかに影響を及ぼすにもかかわらず、これまで見過ごされがちだった心房細動、睡眠時無呼吸、大動脈弁狭窄についてお話をさせていただきます。

Profile

- 1982年 奈良県立医科大学卒業
- 1985年 奈良県立医科大学第三外科学 助手
- 1994年 Baptist Medical Center, Oklahoma Transplantation Institute(米国)に2年間留学
- 1996年 奈良県立医科大学第三外科学 講師
- 1997年 奈良県立医科大学第三外科学 助教授
- 1998年 奈良県立医科大学第三外科学(現、胸部・心臓血管外科学) 教授

学会活動

外科専門医・指導医、胸部外科指導医、心臓血管外科専門医、
日本心臓血管外科学会国際会員、循環器専門医